

サルナートの根本香堂
釈尊の居室跡と伝えられる



三寶寺寺報 第一八九号
 二〇〇四年九月一日発行
 発行人 目崎 薫(三寶寺住職)
 伊勢原市沼目三 十一 二
 TEL 0463 93 3236
 FAX 0463 93 5452
 購読料加金 年三〇〇〇円(年・送料込)
 郵便振替口座 一〇二〇〇六一〇五八五三二
 〒 259-1126

特 門信徒語録
集 なぜ仏陀は出家したのか

大谷大学生 願生新聞に大学の先生が言っていたことが載っていたのに驚いた。『仏教は信心を強制しない』というところがある。

住職の声 信仰の深さを示すのは、絶対者への服従ではないのです。仏法は、自身自身のもっているめざめの歩みを尊ぶのです。

大谷大学生 絶対者の服従とは具体的に何ですか

住職の声 服従は、他人の意志や命令に従うことですが、捨命、捨財、捨身をもって従うことを強制することが多いのです。

この場合の捨は、サンスクリット語の *niṣpāya* 捨てるですが、聖徳太子が勝鬘經義疏を講話した時、摂受正法の中では身命財を捨てる心での捨は *tyāga* で摂受正法と教示されています。

摂受は *parigraha*

取得・獲得、漢訳は摂受

おさめつけたまへとなり(真聖5の42)

おさめる(成果をあげる、うけとる)

仏菩薩の慈悲の心を以て衆生をうけおさめ守らせる事(稲津先生訳)

所撰(摂受される)の正法と能撰(摂受する)のはたらしきの二面に分析し、能撰について「心」を出し、その心が得られる八地以上とする。勝鬘經義疏P.33

捨 *tyāga* の心は菩薩の慈・悲・喜・捨の四無量心

チャットバリ *catvāri* (四) *apramāṇāni* (無量)

慈 *maitrī*, *metta* 有愛の心

慈無量 衆生に樂を与えることが無量

悲 *karuṇā* 他者の苦しみに対する同情

悲無量 衆生の苦を救済することが無量

喜 *mudita* 他者を幸福にする喜び

喜無量 衆生に樂があるのをねたまないこと

捨 *tyāga*、*upekṣā*、*upekṣā*

すべてのとらわれを捨てることを無量に起こし、無量のひとびとをさとり導くこと(中村元)

捨無量 怨親などの差別の相を捨てて、平等に利することが無量なこと。

簡単に言うと、慈(いつくしみ)、悲(あわれみ)、喜(よろこび)、捨(平らな心)。後の解釈によると、禪定によって修得すべき利他の心であり、それによって衆生に無量の福をもたらし、自らも梵天の世界に生まれるといわれる。

維摩經14巻 538中 554中

解釈例 樂を与え、苦を抜き、法を喜び、財を捨てること、大いなる安らぎ

稲津紀三先生訳

大喜大捨これを仏性となす 涅槃經

捨の心、摂受正法の心とされる 勝鬘經

義疏P.52 捨には、捨命、捨財、捨身を強制することではなく、四無量心を身につ

三寶寺掲示板 九月

いかなる

昨日より

今日が尊い

No matter what yesterday was, today is what is precious.